

第3章

多摩区地域福祉計画の取組

1

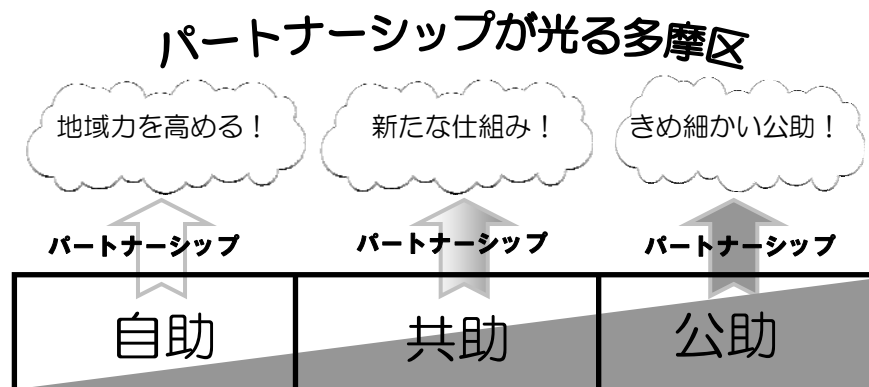
第3期計画の理念・目標

(1) 計画の理念

パートナーシップが光る多摩区

多摩区では、第1期(平成16(2004)～19(2007)年度)・第2期(平成20(2008)～22(2010)年度)において、「あらゆる場面、機会を通して、いろいろな人とふれあい、交流(支えあい・助け合い)できるまち」を計画の理念として、様々な事業や取組により地域福祉計画を推進してきました。

第3期計画では、第2期計画までの取組をさらに発展させるため、「パートナーシップが光る多摩区」を計画の理念として、自助・共助・公助を育むパートナーシップにより地域力を高め、あらゆる人がつながり、助け合い、誰もが安心して暮らせる多摩区を目指していきます。



パートナーシップ (Partnership) とは

目的を共有し、ともに力を合わせて行動すること

① 「区民、団体」「関係機関、NPO等」同士のパートナーシップ ～自助・共助から地域力を高める～

地域には、区民、団体、関係機関などの様々な主体があります。地縁関係による団体としては、町内会・自治会、社会福祉協議会等の住民自治組織があり、古くから地域を支えてきました。一方、共通した問題意識を持つ人たちから形成する市民組織として、保健福祉団体、NPO等の比較的、新しい団体が増えてきました。

新旧の区民・団体同士が相互に補完し連携を強めながら、区民が主役となり行政や関係機関と協働を進め、地域社会の運営を進めるシステムづくりをしていくことが大切です。

② 「区民、団体」「関係機関、NPO等」「区」のパートナーシップ ～共助から新しい地域福祉を創出する～

個人の責任や努力のみでは対応できない課題には、区民が相互に連帯して支え合うことによって安心した生活を保障すること（共助）が大切です。また、地域が力を合わせて実現していく共助は、地域の人的資源としても位置づけられます。

地域社会を構成する様々な主体が協働をすすめ、新たな支え合いの領域を拡大、強化していくことにより、新しい地域福祉が創られます。

③ 「区」内のパートナーシップ ～きめ細かい公助へ～

保健福祉サービスに係る施策や法律は、高齢者、障害者、子ども、健康という分野ごとに整備され、区においても高まる専門性に対応するために、高齢者支援、障害者支援、児童・家庭支援、こども支援、地域健康支援等の分野別の体制になっています。地域に暮らす区民のニーズに対応するために、職員一人ひとりが使命感と責任感を持ちながら縦割り組織の弊害をなくし、区内の連携を強化していきます。これらを行政の責任として推進していくこと（公助）により、区民の目線に立った地域福祉の推進を確実なものにしていきます。

(2) 目標

目標1 「区民と行政のパートナーシップ」の推進

地域福祉の推進には、行政だけではなく、区民一人ひとりの参加と協力が必要不可欠です。区民、町内会・自治会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、NPO、保健福祉団体、保健福祉サービスを提供している関係機関など、様々な立場の人が協力し合い、また、行政が連携することで、あらゆる面からきめ細かくサービスを提供することができるようになります。区民・団体・関係機関・行政のパートナーシップを推進します。

行動目標

- ・誰もが健やかに安心して暮らせる地域を目指します
- ・区民・団体・関係機関・行政等の協力関係を高めます
- ・保健福祉の情報の共有化に努めます

目標2 地域での「つながり」の推進

地域でのつながりは、顔の見える関係を築き、相互に見守りあい誰もが安心して暮らせる地域社会の基盤になります。また、人と人とのつながりは地域への関心も高め、地域力や組織力を高めてくれるため、地域をつなぐを強めることを推進します。

行動目標

- ・ 地域での交流の機会を大切にします
- ・ 誰もが参加できる場づくりに努めます
- ・ 世代間をつなぐづくりをすすめます

目標3 「多様な人材」の参画

地域には「安否確認の見守りや声かけ」「災害時の手助け」「ちょっとした買い物」などの助け合いであれば、できると考えている人が多く存在します。週に数日のみ仕事をしている人や大学生等の中には、条件が合えば協力してもよい、趣味や特技を生かした分野であれば協力してもよいと考えている人たちがいます。

また、支援を必要とする人と協力できる人をコーディネートする人材も求められています。そのような人と組織づくりを支援し、多様な人材を受け入れる体制の見直しや区民の活躍の場づくりをすすめます。

行動目標

- ・ 様々な人がボランティアをできる仕組みをすすめます
- ・ 思いやりの気持ちと支え合いを大切にします
- ・ 一人ひとりが地域に貢献できる取組をすすめます

2 第3期計画における主要な取組

第3期多摩区地域福祉計画における主要な取組は、新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画の区計画を踏まえて、次の2つとします。

第3期多摩区地域福祉計画

■取組期間 平成23(2011)年度から平成25(2013)年度までの3か年

■主要な取組

(1) 地域のつながりを広げる仕組みをつくります
事業名「つながりひろがるパートナーシップ連絡会」

(2) 身近な地域でのコミュニティを活性化します
事業名「多摩区みんなの公園体操」、「多摩区こどもの外遊び事業」

新総合計画第3期実行計画における区計画（多摩区）

■取組期間 平成23(2011)年から平成25(2013)年度までの3か年

■地域の課題解決に向けた主要な取組

- 観光振興・タウンセールスの推進
- “たまっ子”を区民みんなで育てる総合的な子ども・子育て支援機能の充実
- 公園を拠点としたコミュニティづくり
- 災害に備えた交通事故や犯罪から守る、安全で安心できるまちづくり

多摩区子ども支援基本方針
たまっ子プラン

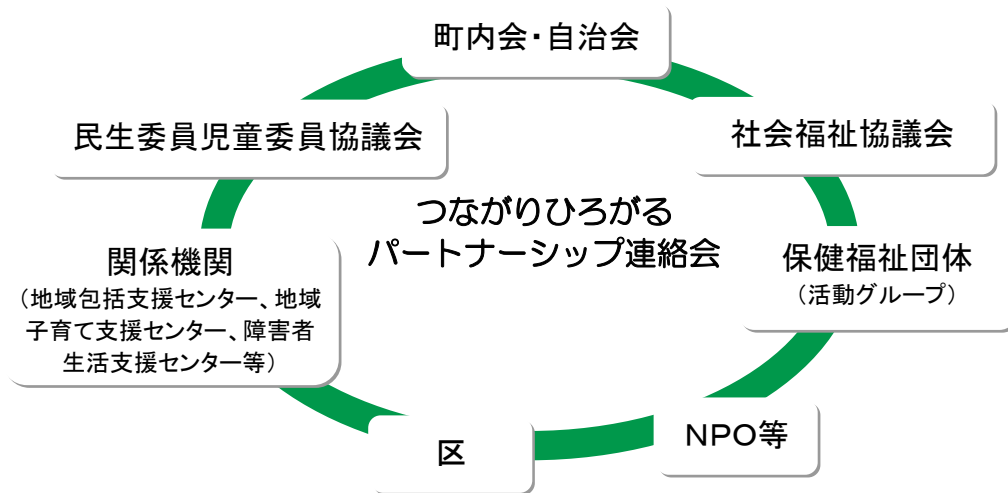
平成22年2月

川崎市多摩区役所

(1) 地域のつながりを広げる仕組みをつくります

区民が主役となり、行政や関係機関等との協働をすすめ、地域社会における地域福祉の運営をすすめる仕組みをつくります。

「つながりひろがるパートナーシップ連絡会」として、地域福祉圏域を目安に、町内会・自治会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、保健福祉団体、保健福祉の関係機関、NPO、区等の関係者による連絡会を開催します。その中では、「将来、暮らしたい町」(目的)について話し合い、皆で目指すゴールを明確にしていきます。



(2) 身近な地域でのコミュニティを活性化します

この取組は、第2期区民会議からの提案を受け、新総合計画第3期実行計画における区の主要課題「公園を拠点としたコミュニティづくり」として位置づけられています。

この背景には、「多摩区みんなの公園体操」の広がりにより、高齢者の運動習慣や社会交流の機会をつくり一定の成果をあげてきたことと、「多摩区こどもの外遊び」事業において、子どもの外遊びの定着を目指してきたことがあります。

公園は誰もが自由に利用でき、身近な場所にあることから、これまで、地域との係りの薄い人でも参加しやすいという特徴があります。また、子どもから高齢者までの多世代が集いやすく交流できる場でもあり、日常生活におけるコミュニティの活性化が期待されます。

3 具体的な取組

(1) 目標1「区民と行政のパートナーシップ」の推進

目標1「区民と行政のパートナーシップ」の推進

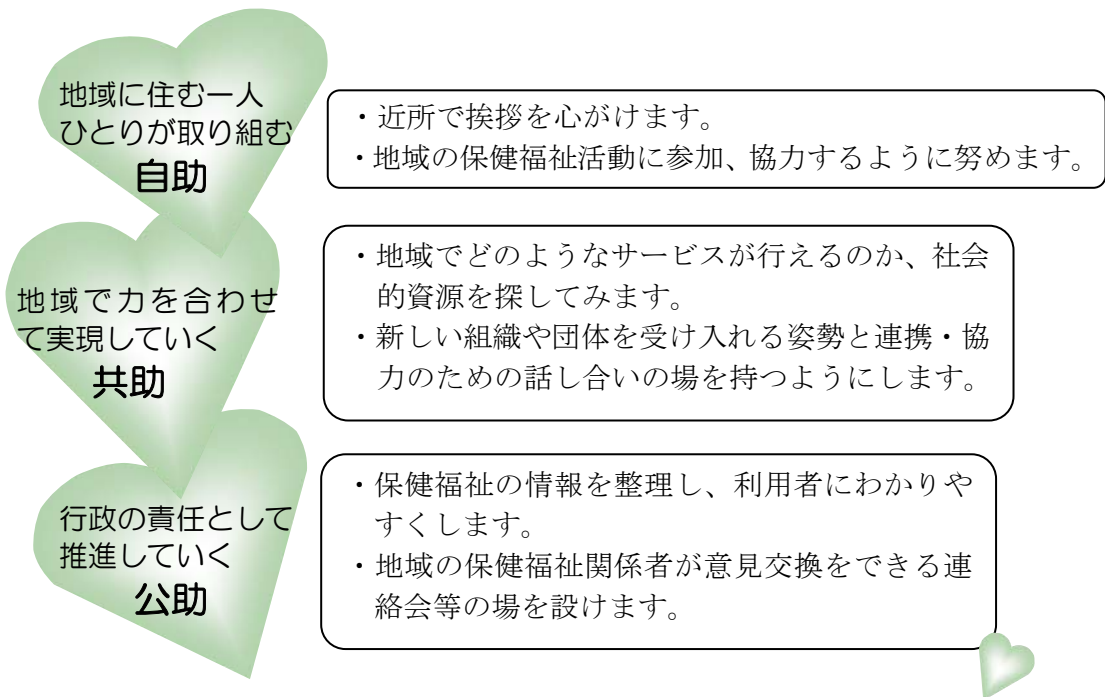
■ 現状と課題

従来からの保健福祉サービスのみでは区民ニーズへの対応が困難になっています。また、高齢者、障害者、子どもなどの各分野における施策のみでは、柔軟な支援が行われにくい現状があります。住民自治組織として長年、地域を見守り支えている町内会・自治会においては、役員の高齢化、後継者不足の問題があります。

また、区が提供するサービスから漏れてしまう人への対応、情報の伝達、災害時の対応や団体間の連携に関する仕組みの構築、といった問題もみられます。

このような問題を解決するには、従来からの手法のみでなく、行政と区民や団体、関係機関等との連携がより一層、重要になってきます。町内会・自治会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会などの従来からある団体と創造性や柔軟性に優れているNPOや保健福祉活動団体、そして、保健福祉サービスを直接提供している事業者等の関係機関が協力し合い、今日的な地域福祉の課題に対応していくことが大切です。潜在する地域力を掘り起こしながら、地域に係わる人々がそれぞれの役割を果たし、新しい共助の仕組みづくりを行うことが求められています。

■ 地域福祉のすすめ方



■ 自助・共助・公助における具体的な事業

○ 区民・団体・関係機関・NPO等の取組 **自助 共助**

主 体	主な事業
区民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民会議 ・ 各種会議・委員会への参加広報 ・ 地域の意見交換 ・ その他
町内会・自治会	<p><情報を共有する活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市、県からの広報物の配布、回覧 ・ 各種会議・委員会への出席 <p><災害に備える活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の実施、市・区防災訓練への参加 ・ 自主防災組織の運営と災害時の避難支援 <p><安全・安心な暮らしを守る活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防火パトロール、防犯パトロール、防犯灯の維持管理
地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙の発行 ・ その他
民児協	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てサロンの開催 ・ こんにちは赤ちゃん訪問事業への協力 ・ 一人暮らし高齢者等の把握及び実態調査への協力 ・ 災害時要援護者避難支援制度への協力 ・ 災害時一人も見逃さない運動の推進 ・ その他
関係機関、NPO、その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターの運営・地域子育て支援センターの運営 ・ 磨けば光る多摩事業（区民提案事業）への応募 ・ 子育てBOOK発行への協力・受託・まちづくり協議会の検討・取組 ・ 高齢者在宅生活支援サービスへの協力・受託 ・ その他



「自治会で支えあうまちづくり」の活動事例 ～月見台自治会・月見台まちづくり委員会における福祉のまちづくりの取組～

平成19（2007）年10月に「月見台まちづくりプラン2007」を策定し、まちづくりの将来像と方針、ルールを定め、地域住民が協働で「いつまでも安心して住み続けられるまち」を育んでいます。

自治会の社会福祉部、老人クラブの各10名が一定エリアを担当し、積極的な声かけと見守りを行っているほか、自治会のまちづくり委員会が高齢者宅の草取り、植木の剪定、朝の学童パトロールなどを行い、近隣同士、顔の見える関係づくりを行っています。敬老の日には、75歳以上の高齢者宅へ自治会より記念品を届けながら、全員の安否確認を行っています。



まちづくりプラン発表とフリーマーケット開催

○ 区社会福祉協議会の取組

地域福祉活動計画 目標	事業	
広報啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙の発行 ・ 各種まつりへの参加 ・ リーフレットの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの運営 ・ 多摩区社会福祉大会
住民参加による福祉活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小地域福祉活動の推進 ・ 地域福祉活動拠点の確保 ・ いこいの家の管理運営 	
総合相談支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合相談支援事業 ・ あんしんセンター事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活福祉資金貸付事業 ・ ニーズ把握 ・ 評価システムの構築
地域の団体・施設との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働事業の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関 ・ 団体との情報交換



多摩区社会福祉協議会の広報啓発の取組

○ 多摩区社会福祉大会

多摩区社会福祉協議会では、年に1回多摩区社会福祉大会を開催しています。多摩区民への社会福祉にかかわる啓発活動を広く行うとともに、多年にわたり地域福祉活動に貢献された個人の方や団体に感謝状を贈呈しています。

多摩区らしい社会福祉大会となるような魅力的な企画を目指し、第3回目の平成22年

(2010)は、「見直そう！！近所力・地域力」と題した記念講演会を行うなど、好評を博しました。



多摩区社会福祉大会での表彰の様子

○ 広報紙「多摩」の発行

広報紙「多摩」は、多摩区社会福祉協議会の講座・研修などの事業紹介や区内の福祉情報を発信するため、年4回発行しています。町内会、自治会での全戸配布・回覧のほか、区役所、市民館、福祉パル、いこいの家等でも配布しています。



広報紙「多摩」

○ 区の取組

事業名	平成23（2011）～25（2013）年度の取組	協働など
【高齢者・障害者】		
地域ケア連絡会議	介護予防・生活支援の観点から、在宅高齢者やその家族に対し、相談及び各種サービスを実施している機関が連携を図り、適切なサービス提供につながるように、地域ケア体制の充実を図ります。 高齢者支援課	関係団体：地域包括支援センター、区社協、介護支援専門員連絡会、市社協
虐待防止に対する支援の周知及びネットワークの構築	虐待防止に対する支援の周知や地域の関連機関との連携を図っていきます。 必要に応じて関係者によるネットワークミーティングや緊急性の判断等を行うコアメンバー会議を開催していきます。 高齢者支援課	関係団体：地域包括支援センター、ケアマネージャー、事業所、あんしんセンター、警察等
多摩区徘徊高齢者SOSネットワーク事業	徘徊することにより、生命に危険の可能性がある認知症高齢者を、地域において、早期に発見できるよう、区内の様々な関係機関と連携し、高齢者の安全と家族等への支援を図っていきます。 高齢者支援課	
ひとり暮らし等高齢者見守り事業	地域の実情に通じている民生委員の協力のもと、一人暮らし高齢者等の世帯状況や身体状況等の実態を把握し、安心して生活を営めるよう、見守りネットワークづくりに活用していきます。 高齢者支援課	協力：地区民児協
多摩区障害者地域自立支援協議会	障害のある人が地域で安心して生活できるよう、障害に関する普及啓発、社会資源の開発、支援技術の向上に取り組みます。相談支援事業を初めとする地域の障害福祉関係機関の連携の強化を目指します。 保健福祉サービス課	関係団体：障害者生活支援センター等
多摩区精神保健福祉連絡会議への支援	医療、保健、福祉、教育等の各分野からなるメンバーが、地域で抱える精神保健の問題について講演会を開催する等、普及啓発を行うとともに、こころの健康のためのネットワークを構築していきます。 保健福祉サービス課	担い手：多摩区精神保健福祉連絡会議
【子ども】		
子育てセミナー	育児に関する学習や情報交換などを行い、親の育児力の向上や、育児の仲間づくりを応援します。 保健福祉サービス課	
多摩区幼・保・小連携事業 *	連絡会議や交流事業を通し、区内の幼稚園・保育園・小学校の職員が相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題について話し合い、情報共有や交流を行いながら、相互協力・連携を進めていきます。 こども支援室	担い手：区内幼稚園、保育園、小学校

事業名	平成23（2011）～25（2013）年度の取組	協働など
多摩区子ども総合支援連携会議 *	「多摩区子ども支援基本方針～たまっ子プラン～」に基づき、団体・機関・関係部署のネットワークを活かした活動を具現化し、地域子育てを支援する仕組みづくりを行います。 子ども支援室	担い手：子ども支援関連の25団体
多摩区子育てWeb *	妊娠期から青少年期までの保護者及び子ども本人を対象に、子育て支援・地域情報全般を系統的に紹介していきます。 URL http://www.city.kawasaki.jp/71/71tama/home/71kodomu/kosodateweb/index.html 子ども支援室	
子育てBOOKの発行 *	毎年更新して、区民や地域団体と協働で地域情報の積極的な収集・発信を行い、子育て家庭のニーズに応じた情報を提供していきます。 子ども支援室	担い手：編集委員会
たまたま子育てまつり *	子育て中の親子や区民を対象に、子育て力を養い、仲間探しをする場づくりを行います。子育て情報をきめ細かく発信し、利用できるためにネットワークの構築を目指します。 生涯学習支援課	担い手：実行委員会
【健康・地域保健福祉】		
多摩区健康づくり推進会議	市民健康づくり運動の推進及び地域の健康課題に関する情報交換と連携を図ります。「かわさき健康づくり21」の推進とともに、地域特性を生かした健康づくり推進のネットワークづくりを目指します。 地域保健福祉課	関係団体：医師会、歯科医師会、中学校、小学校、その他健康関連の団体
多摩区食育推進分科会	川崎市食育推進計画の推進、食育交流会の企画、イベント等を行います。様々な団体と協働で食育を推進します。 地域保健福祉課	関係団体：栄養士会、食生活改善推進員連絡協議会、保育園、小学校、中学校、大学、JAセレサ、食品衛生協会
災害時要援護者避難支援制度	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者に対し登録を促進し、希望者からの申し込みを受けて登録を行います。 申し込みにより作成した災害時要援護者名簿を支援組織（町内会・自治会、自主防災組織）に提供し、地域における共助による避難支援体制づくりが円滑に進むよう支援します。また、民生委員に対し支援組織からの依頼に対する協力要請を行います。 地域振興課、高齢者支援課、保健福祉サービス課、地域保健福祉課	関係団体：町内会・自治会、自主防災組織、民生委員
つながりひろがるパートナーシップ連絡会 ★（新規）	地域福祉圏域を単位に、地域福祉関係者等との連絡会を開催します。また、区社協との情報交換も進め、連携の強化を図ります。 地域保健福祉課	関係団体：地域福祉に係る各団体（区社協等）

事業名	平成23（2011）～25（2013）年度の取組	協働など
市民自主学級・市民自主企画事業	地域や社会の課題解決に向けて、市民が企画提案し、市民館と協働で市民に身近な学習の場を創り、市民の主体的な学習活動や市民活動を活性化します。 生涯学習支援課	

★主要な取組 *平成22(2010)年度多摩区協働推進事業



「たまたま子育てまつり」の活動事例
 ～区民と行政のパートナーシップが子育てネットワークを育む～

平成14（2002）年度から始まった「多摩区子育て支援会議」から生まれたお祭りで、区内で子育てをする保護者が孤立することなく、地域の中で安心して子育てができる地域社会を目指して、年1回、開催します。子育て支援団体、市民活動団体、企業、行政が協働して、情報ひろばや親子遊び、子育て相談、講演会などを行い、子どもと共に楽しく一日を過ごします。

たまたま子育てまつり実行委員会による企画、運営を通して子育て支援関係機関が連携を図り、子育て支援情報等を相互に発信・利用できるようなネットワークの構築を進めています。

平成22（2010）年で第8回目を迎えましたが、区内の子育てまつりとして、子育て中の親子や関係者に普及、定着しています。



オープニングイベント



ダンボール基地で遊ぼう

(2) 目標2 地域での「つながり」の推進

目標2 地域での「つながり」の推進

■ 現状と課題

個人に関する情報の重視や居住形態の変化といった社会情勢の変化に伴い、かつてはよく見られた地域での付き合いが薄れつつあります。隣近所同士であっても挨拶をかわすこともなく、顔も分からないということもおきています。そのため、地域でのちょっとした声かけや交流の機会への参加のお誘い、助け合い活動なども難しくなっています。

さらに、地域の防犯や防災を行うことの困難さ、地域のつながりや住民同士の交流の低下、異なる世代とのつながりの低下、といった問題がみられています。

地域には、高齢者、障害者、子どもなど様々な方が生活し、人と人が協力し合い地域社会は成り立っています。

地域での交流を活発にし、地域力を高めるためにも、交流のきっかけや情報の提供をはじめ、誰でも参加できる場づくり、世代間のつながりを推進し、地域における問題に対応していきます。

■ 地域福祉のすすめ方

地域に住む一人
ひとりが取り組む
自助

- ・気軽に挨拶ができ、手助けを頼めるような人間関係を作ります。
- ・交流会等にできるだけ参加をするようにします。

地域で力を合わせ
て実現していく
共助

- ・地域の高齢者や障害者の生活ニーズを把握し、地域の助け合いによる仕組みを検討していきます。
- ・ボランティア活動や挨拶などを通じ、地域の人同士の交流を深めていきます。

行政の責任として
推進していく
公助

- ・偏見や差別をなくすようにします。
- ・情報が共有されるように、イベント等のお知らせをきめ細かく行います。

■ 自助・共助・公助における具体的な事業

○ 区民・団体・関係機関・NPO等の取組 **自助 共助**

主 体	主な事業
区民	・各種催しの開催 ・その他
町内会・自治会	<p><地域交流を進める活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭り、盆踊り、運動会、あいさつ運動など <p><安全・安心な暮らしを守る活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの登下校の見守り、高齢者の見守り ・子どもや高齢者の交通安全活動
地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会福祉のつどい」「地域福祉のつどい」「お年寄りのつどい」「登戸さくら祭り」・社会を明るくする運動 ・ミニデイ、会食会・自主リハビリの会・いこいの家の運営協力 ・母親クラブの支援・各部会による行事・その他
民児協	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン「ひよっこ」「バンビ」「すくすく」 ・中学校との交流会 ・中学生から高齢者への年賀状送付 ・世代間の交流活動 ・その他
関係機関、NPO、その他	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブによる友愛訪問活動 ・子どもの下校時の見守り活動 ・公園体操、屋内体操 ・すこやか活動推進委員会（布田・中野島、生田地区、南菅地域、登戸地区、長沢・南生田地区、三田地区）、菅地域さわやか活動推進委員会によるわたしの町のすこやか活動 ・商店街連合会による多摩区子育て支援パスポート事業への協力 ・親と子の育児園への協力・受託 ・その他



「子どもの下校時の見守り」の活動事例
～挨拶と見守りから地域がつながる～

8つの町内会と登戸地区老人クラブ連合会が中心となり、児童の下校時間に合わせて人通りの少ない通学路に立ち、児童の安全な下校を支えています。区内でおきた小学生への事件をきっかけに、地元の登戸小学校卒業生から「地域で子どもを守っていこう」「先生の負担を減らそう」という声上がり、平成18（2006）年9月から毎日約30人を動員し、15か所に立つ組織的な見守りが始まりました。犯罪の抑止効果に加え、地域の世代間交流が広がっています。

平成19（2007）年には、学校安全の普及と向上に成果をあげたとして文部科学大臣賞を受賞、平成21（2009）年には、地域が一体となった学校安全の取組が評価され、内閣総理大臣賞を受賞（国民安全功労表彰）しました。



下校時の見守り活動の様子



「囲碁・将棋をならべよう会」の活動事例
～囲碁を通じて、子どもと高齢者がつながる～

稲田東地区民生委員児童委員協議会による「囲碁・将棋ならべよう会」は、平成14（2002）年9月から長尾いこいの家で始まりました。毎月第3・4土曜日に、講師として、町内会の囲碁同好会のボランティアが活躍しています。囲碁や将棋を通して、地域の子どものちと高齢者の交流を深めることが目的です。

囲碁や将棋という伝統的な遊びを通して、礼儀作法も学び、地域の活動が、学校や家庭を支えています。なお、この活動に対して、平成22（2010）年11月には、厚生労働大臣表彰（社会福祉功労者）として感謝状が授与されました。



囲碁・将棋をならべよう会の様子

○ 区社会福祉協議会の取組 **共助** **公助**

地域福祉活動計画 目標	事業
住民参加による福祉活動の推進 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者ふれあい活動の推進支援（会食、配食、デイサービス） ・ 小地域福祉活動の推進 ・ 地域福祉活動拠点の確保 ・ 地区社会福祉協議会の組織強化支援
在宅福祉サービスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームヘルパー派遣事業 ・ 障害者自立支援事業 ・ 年末たすけあい配分事業 ・ 車椅子の貸し出し ・ 介護保険事業 ・ おたっしやサポート ・ 移送・送迎サービス事業
子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ M a m' s T I M E ・ ふれあい子育てサロン「いちにのさん！」 ・ 母親クラブの育成

○ 区取組

事業名	平成23（2011）～25（2013）年度の取組	協働など
【高齢者・障害者】		
いこい元気広場	いこい元気広場を普及させ、地域の高齢者が通うことにより、運動習慣を身につけ、閉じこもり予防、仲間づくりに役立て、介護予防となるよう努めます。 地域保健福祉課	担い手：事業者等の関係機関
わたしの町のすこやか活動支援事業	高齢者が地域でいきいきと暮らせるよう、健康づくりや介護予防、閉じこもり防止の活動を町会等と連携して地域ぐるみで取り組んでいる団体に対して助成します。 高齢者支援課	担い手：7地区の推進委員会
老人クラブ育成事業	地域の活動として高齢者が主体的に集まる仲間づくりの場として、①教養の向上、②健康の増進、③社会活動、④レクリエーションなどの老人クラブ活動を支援していきます。 高齢者支援課	関係団体：老人クラブ連合会
認知症高齢者介護教室	認知症高齢者をめぐる諸問題を介護者・ボランティア等と共有し、地域での支え合いの重要性を啓発していきます。 地域保健福祉課	関係者：個人ボランティア
介護予防グループ支援事業	毎月のプログラム決定、進行等をボランティアが実施します。保健福祉センターでは年間数回、講師派遣、保健師による健康相談、健康講話等を行い支援します。ボランティアと保健師で参加者や住民についての情報共有を図ります。 地域保健福祉課	対象：にっこり、たんぼぼ、ありのみ会、かざぐるま、ほがらか会、各地区会食会、ひらいサロン、りぷりんとかわさき
患者・家族会等のグループ支援	主に発症して間もない統合失調症患者の家族を対象に、家族会と共同で「家族教室」を実施します。病気や障害に関する情報等の提供や家族としての経験を分かち合うための座談会及び社会資源の見学等を通じて、精神医療や福祉制度の理解を深め、孤立の防止や家族の対応能力の向上と、こころの病について考える機会とします。 保健福祉サービス課	対象：家族会・泰山木の会
地域リハビリへの支援	毎月のプログラム決定、進行等を当事者及びボランティアが実施します。保健福祉センターでは年間数回、講師派遣、保健師による健康講話等を行い支援します。 地域保健福祉課	対象：多摩みのり、LPD友の会、生田みのり、菅みのり、長尾みのり、いきいき会、ひばりの会
リハビリ交流会	地域でリハビリに取り組んでいる障害を持った方や虚弱の方々が交流や情報交換等を目的に年1回、集います。開催前には各グループの当事者・ボランティアと保健福祉センター保健師、地域包括支援センター、社会福祉協議会職員と実行委員会を開催し、当日に向けて準備を行います。 地域保健福祉課	関係団体：実行委員会（区社協、地域包括支援センター）、多摩みのり、LPD友の会、生田みのり、菅みのり、長尾みのり、いきいき会、ひばりの会

事業名	平成23（2011）～25（2013）年度の取組	協働など
多摩ふれあいまつり	障害のある当事者、団体、市民が参加し、出会い、ふれあい学びあいながら、多摩区における障害者への理解と福祉活動に対する理解を深め、ともに生きる地域社会の実現を目指します。 生涯学習支援課	担い手：実行委員会
障害者社会参加の活動	地域での体験活動や交流などの学習機会を提供することを通して、障害のある人の社会参加を図り、ともに生きる地域社会の実現を目指します。 生涯学習支援課	担い手：青年教室ボランティア
【子ども】		
地域子育てサロン： ママ's サロン	乳幼児を持つ保護者が交流し、子育てを楽しみ、支え合うためのきっかけづくりを地域のボランティアとともにを行います。 保健福祉サービス課	関係者：地域ボランティア
幼児の発達支援事業 *	発達に関する心配や育児に不安のある幼児と保護者を対象に、集団遊びの体験や、保護者同士の交流、個別相談を実施し、子ども一人ひとりにあった対応ができるように支援します。 保健福祉サービス課	
子育てグループ支援	育児をしていく上で、同じ悩みを持つ保護者が交流し、支え合い、学びあえるように支援します。 保健福祉サービス課	対象：ふよふよザウルス（多胎児の会）、このとり（高齢妊産婦の会）、ちっちゃいこくらぶ（低出生体重児の会）、だんでらいおん（発達障害児の親の会）
こんにちは赤ちゃん 訪問事業	生後4か月までの乳児がいる家庭に地域の子育て情報を近所にお住まいの訪問員がお届けします。地域ぐるみで子育てを応援します。 保健福祉サービス課	担い手：訪問員
親と子の集い場づくり 事業 *	区内4会場で親子を対象に実施します。育児不安やストレスの軽減及び親同士の交流を目的に、楽しく集い遊ぶ場の提供や、安全に遊べる環境整備を、地域の子育て支援者等と協働で継続していきます。 こども支援室	関係団体：区公立保育園、子育て支援センターにししゅくがわら、区民児協、中野島こ文、菅こ文、すかいきっず、生田道院、区社協
親と子の育児園 *	0歳から3歳までの家庭で保育している親子を対象に、育児や父親参加等子育てについての学習や交流の機会を提供し、子育て力を養えるよう応援していきます。 こども支援室	関係団体：地域子育て支援団体

事業名	平成23（2011）～25（2013）年度の取組	協働など
多摩区子育て支援パスポート事業 ＊	区商店街連合会との協働により区内の妊娠中から18歳未満の子どもがいる家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、声かけ・見守りによる地域でのコミュニケーションを高めます。 こども支援室  子育て支援パスポート	担い手：多摩区商店街連合会
多摩区こどもの外遊び事業 ★ ＊	地域の身近な場所で子どもの日常的な外遊びにつながるように、実行委員だけでなく区民や地域団体・子育て支援団体等へも呼びかけ、地域に密着した活動を展開していきます。 こども支援室	担い手：実行委員会
外国人の子育てひろば	子育て中の外国人の親子を対象に、家庭の教育力を培い仲間づくりを行う機会を提供することを目的に実施していきます。 生涯学習支援課	担い手：川崎市家庭教育推進協議会、子育てを考える会「グレープ」
【健康・地域保健福祉】		
多摩区健康フェスタ	健康に関する情報発信及び健康づくり・介護予防の取組等を、団体の交流の機会をつくりながら紹介し、区民の健康意識の向上を目指します。 地域保健福祉課  多摩区健康フェスタにおける団体活動報告会	担い手：実行委員会 
多摩区みんなの公園体操 ★	公園体操の普及や会場数の増加などにより拡大を図り地域の健康づくりと介護予防を推進します。また、公園を拠点とした世代間交流を推進します。 地域保健福祉課	担い手：運営委員会
多摩区いきいき体操	体操の普及・拡大・充実をさせることにより、地域の健康づくりと介護予防の取組を推進します。 地域保健福祉課	担い手：運営委員会

事業名	平成23（2011）～25（2013）年度の取組	協働など
多摩区健康ウォーク 体験教室	介護予防・健康づくりを目的に月1回（7～9月 は室内）ウォーキングを実施します。さらに、 地区別ウォーキング活動の開催グループを増やし、 定着を図ります。 地域保健福祉課	担い手：推進委員会
パサージュ・たま ＊	パサージュ・たま運営委員会と連携し、効果的 な開催を検討していくとともに、区ホームページ への掲載やチラシ等を作成し、情報発信に努めて いきます。 地域保健福祉課	担い手：運営委員会
マタニティクッキング	妊産婦を対象に食育を目的に調理実習を行い、 食について実践的に学びながら仲間づくりを図り ます。今後も食育と仲間づくりを支援します。 地域保健福祉課	

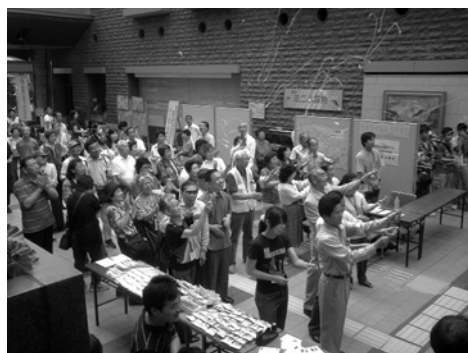
★主要な取組 ＊平成22(2010)年度多摩区協働推進事業



「多摩ふれあいまつり」の活動事例 ～地域に暮らす様々な人がつながる場づくり～

平成11（1999）年に障害者福祉に関心のある人や障害のある人たちが集まり発足した「たまわかくさ（多摩区当事者ボランティア連絡会）」の方々が区社会福祉協議会、市民館等に呼びかけて平成13（2001）年3月に第1回目を開催しました。「地域の人たちとふれあう機会や一緒に活動するきっかけがほしい」という思いを大切にしながら、障害のある人への理解と福祉活動に対する理解を深めることを目的に、多摩ふれあいまつり実行委員会が中心となり企画立案から当日の運営を行います。コンサートやユニバーサルファッションショー、活動紹介や展示などの様々な催しがあります。

平成22（2010）年6月には第10回目を迎え、参加数は34団体、来場者数は約4,000名を数えました。障害のある人、支援団体、市民の交流が広がっています。



オープニングイベント



作業所販売コーナー

(3) 目標3「多様な人材」の参画

目標3「多様な人材」の参画

■ 現状と課題

地域福祉に関するニーズの多様化や個別化がすすむ一方で、保健福祉サービスを提供する側の人材が不足しており、ニーズの全てに対応することは困難になっています。

ボランティア活動は、個人では、自分自身の成長のため、困っている人の役にたちたい、というように目的がはっきりしていても、善意や都合だけでは活動はできません。また、きっかけがつかめない、周囲にボランティア活動をしている人がいない、といったことから活動をしていない問題もあります。

そのため、きっかけづくりやボランティア活動の周知も必要です。また、保健福祉におけるボランティア活動において大切なことは、相手のニーズや求めていることにどのように応えていくかということが重要になります。適切な援助ができるようになるためには、地域福祉に係る情報や技術を身につける機会が提供され、学んだことを実践できることが大切です。

地域社会には様々な人が暮らしていることを理解し、思いやりの心を育み、支え合いながら、一人でも多くの人々が地域づくりに参画し、やりがいを見出し活躍できるようにします。

■ 地域福祉のすすめ方

地域に住む一人
ひとりが取り組む
自助

- ・地域のボランティア活動に関心を持ち、自分でできるボランティア活動を見つけ、参加します。
- ・活動の担い手となる人材の発掘・育成に協力していきます。

地域で力を合わせて
実現していく
共助

- ・専門的な知識や技術を持つ人や高齢者、障害のある人も活躍できる工夫をしていきます。
- ・地域にあわせた活動の担い手を養成する講座や研修を開催します。

行政の責任として
推進していく
公助

- ・専門職員の研修、講習会を充実し、質の向上を目指します。
- ・ボランティア同士の交流の場を提供し、ボランティア活動団体の支援を行います。

■ 自助・共助・公助における具体的な事業

○ 区民・団体・関係機関・NPO等の取組 **自助 共助**

主 体	主な事業
区民	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動への参加・促進 ・養成、教育関連の講座へ参加 ・安心パトロール ・その他
町内会・自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への加入促進など ＜きれいなまちづくりの活動＞ ・ごみの減量、リサイクル、資源物分別収集 ・公園・道路の清掃、草花の植え付け
地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員 ・その他
民児協	<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字社員増強運動への協力 ・共同募金運動・年末たすけあい運動への協力 ・研修会の実施 ・登下校の見守り・パトロールの実施 ・その他
関係機関、NPO、その他	<ul style="list-style-type: none"> ・親育て・子育て支援者養成事業への協力、受託 ・その他



「西菅安心パトロールの会」の活動事例

～防犯パトロールから始まった住民による地域社会づくり～

「西菅安心パトロールの会」は、地域で空き巣が多かったことなどから、菅北浦4丁目14地区（78世帯）を犯罪のない安全で安心なまちにするために、住民の方の発意で平成21（2009）年6月に設立されました。会員は20世帯（平成22（2010）年10月現在）で、週に2回程度、地域内の防犯パトロールを行っています。



パトロールの様子

パトロール中にあいさつや声かけをすることで、不審者から子どもやまちを守り、住民同士のコミュニティを活性化し、防犯に強いまちづくり活動をしています。

また、一人暮らしや高齢者の方のサポートも視野に入れ、交流・支え合いの輪を広げ活力ある地域社会づくりを目指しています。

※活動の詳細は、西菅安心パトロールホームページに掲載されています。

URL <http://nishisuge.blogspot.com/>

○ 区社会福祉協議会の取組 **共助 公助**

地域福祉活動計画 目標	事業
法人運営の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員、会費の見直し ・ 自主財源の造成 ・ 職員研修 ・ 賛助会員の募集 ・ 苦情解決への対応 ・ 地域福祉活動計画の推進
ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩区ボランティアセンター ・ ボランティア情報誌発行 ・ 災害救援ボランティア活動の推進 ・ ボランティアグループ運営活動費助成 ・ 多摩区当事者・ボランティア連絡会への協力支援 ・ ボランティア相談支援事業 ・ 講座の開催
福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉教育相談支援事業 ・ 福祉教育推進委員会
住民参加による福祉活動の推進 (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材の発掘・育成・組織化



多摩区社会福祉協議会のボランティア活動推進の取組
「多摩区ボランティアセンター」

多摩区ボランティアセンターでは、住民一人ひとりのボランティアに関する意識・理解を高め、地域のニーズに対応できるボランティアを養成し、ボランティア活動の推進を図っています。地域や関係機関と連携を図りながらボランティアのネットワークを広げ、地域課題に柔軟に対応できる体制の構築を目指しています。

【仕事の内容】

- ボランティア相談・紹介・調整
- ボランティア講座・セミナーの開催
- ボランティア情報誌の発行（奇数月）
- ボランティア活動への支援

【場所】

多摩区社会福祉協議会 ボランティアセンター
川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2階
電話 044(935)5500



ボランティア情報誌
「たまぼら」

○ 区取組 **公助 共助**

事業名	平成23（2011）～25（2013）年度の取組	協働など
【高齢者・障害者】		
介護予防普及啓発事業	高齢化に伴いニーズの高まっているテーマ（在宅介護、認知症、高齢者うつ等）に関する住民向けの教室を開催します。 地域保健福祉課	
地域包括支援センター・保健福祉センター連絡会	介護予防、健康づくりの側面から、情報交換を行い、連携を深めていきます。 高齢者支援課、地域保健福祉課	関係団体：地域包括支援センター
【子ども】		
すくすく子育てボランティア事業	保健福祉センターの乳幼児健診や育児相談等で親子を支援するボランティアを養成します。活動を通して地域での育児支援に広がるように働きかけます。 保健福祉サービス課	関係団体：子育てボランティア・オリーブの会
親育て・子育て支援者養成事業 *	子育てについての学習や交流の場や情報を提供し、地域の子育て支援を担う人材の育成と、地域での子育て支援や見守りの活動を支援していきます。 こども支援室	担い手：地域子育て支援団体
こども・子育て普及啓発事業 *	地域子育て施策として、社会が一丸となって子育てを支援していく地域づくりを目的に、親や子育て支援者を対象に、講演会や学習会や催し等実施していきます。 こども支援室	
【健康・地域保健福祉】		
運動普及推進員養成教室	地域で健康づくり活動を普及・推進するボランティアを養成するために、年1回、教室を開催します。 地域保健福祉課	
多摩区運動普及推進員の会への支援	運動普及推進員は月1回、保健福祉センターと協働で区民を対象にさまざまな運動を体験する機会をつくり、学習を行っています。地域の各種イベントや運動グループの健康づくり活動を支援します。 地域保健福祉課	担い手：多摩区運動普及推進員の会
食生活改善推進員養成教室	ボランティアを継続して養成し、食を通じた健康づくりを推進します。 地域保健福祉課	

事業名	平成23 (2011) ~25 (2013) 年度の取組	協働など
<p>多摩区食生活改善推進員連絡協議会への支援</p>	<p>食生活改善推進員として、家庭や地域の食生活を実践的にサポートできるために、調理実習を取り入れた学習会を行っています。管理栄養士が専門的立場から助言を行います。</p> <p style="text-align: right;">地域保健福祉課</p>  <p style="text-align: center;">男性の料理教室と食生活改善推進員</p>	<p>担い手：多摩区食生活改善推進員連絡協議会</p>
<p>介護予防・健康づくりボランティア養成教室</p>	<p>養成教室を継続して実施し、地域の活動へつなげ、介護予防健康づくり活動の活性化を図ります。広報を強化し、ボランティア層の拡充を図ります。</p> <p style="text-align: right;">地域保健福祉課</p>	
<p>体操ボランティア学習会</p>	<p>ボランティア活動の知識や技術を身につけ、自信を持ち、体操ボランティア活動を継続できることを目指します。</p> <p style="text-align: right;">地域保健福祉課</p>	
<p>健康づくり・介護予防活動交流会</p>	<p>多摩区健康フェスタのイベントを通して団体間の交流を図ります。また、ボランティア活動等に関する情報の共有化を図ります。</p> <p style="text-align: right;">地域保健福祉課</p>	<p>関係団体：実行委員会</p>

* 平成22(2010)年度多摩区協働推進事業



「シニア世代がボランティアとして活躍する」活動事例

多摩区役所保健福祉センターで開催しているボランティア養成教室等を受講した方々が、地域のボランティアとして活動をしています。健康づくり・介護予防を目的に保健福祉センターと協働し、平成18（2006）年7月から「多摩区みんなの公園体操（屋外体操）」「多摩区いきいき体操（屋内体操）」を、平成20（2008）年4月から「多摩区健康ウォーク体験教室」を開催し、その普及に取り組んでいます。

平成22（2010）年11月現在、公園体操は27会場、いきいき体操は20会場でそれぞれに、週1回程度、ウォーク体験教室は月1回程度実施しています。これらの運営には延べ180名のシニアボランティアがかかわっており、誰でもスムーズに体操が行えるように作成した音楽を流す準備や参加者への声かけ、安全への配慮などを行っています。体操やウォーキングを楽しく安全に継続していくために欠かせない存在です。体操やウォーキングの普及は健康増進、転倒予防などの介護予防だけでなく、閉じこもりを予防し、ご近所の仲間づくり、地域の絆づくりの一助になっています。



ウォーキング体験教室



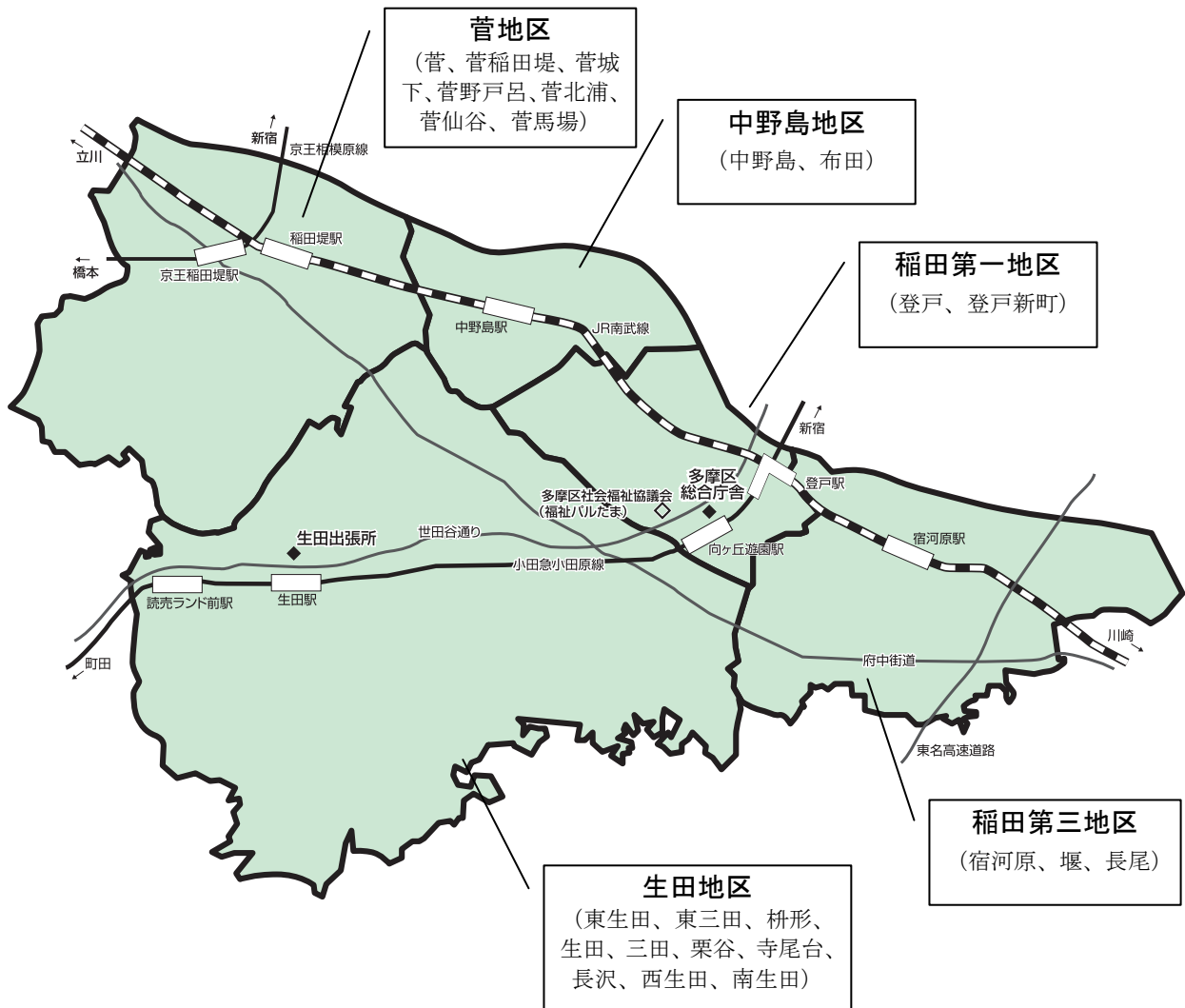
みんなの公園体操



いきいき体操

4 地区の現状と取組

多摩区地域福祉の圏域ごとに、次の5地区に整理しました。



掲載基準 平成22 (2010) 年12月現在

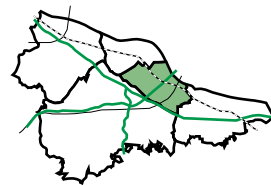
地区データ：「川崎市の統計情報 川崎市町丁別世帯数・人口 川崎市町丁別年齢別人口」を基に作成

地区で行われている保健福祉活動：広く区民を対象とする活動

「社協」：社会福祉協議会、「民児協」：民生委員児童委員協議会、「包括C」：地域包括支援センター、「こ文」：こども文化センター、「子育て支援C」：地域子育て支援センター

(1) 稲田第一地区

地区内の町丁目
登戸、登戸新町



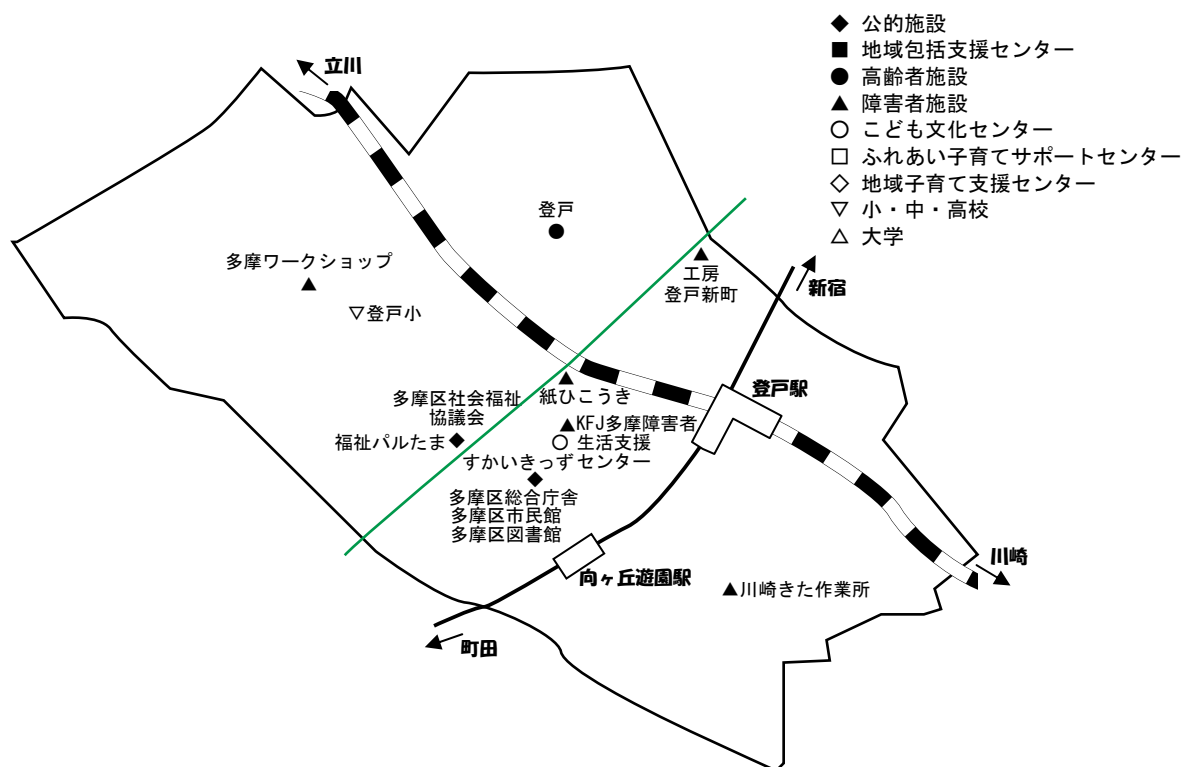
■ 地区の概況

稲田第一地区は、多摩区の北東部に位置し多摩川を境に東京都狛江市と接しています。JR南武線登戸駅、小田急小田原線登戸駅、小田急小田原線向ヶ丘遊園駅があることから、交通の便が良く、多摩区総合庁舎や多摩区社会福祉協議会など、公的機関があります。平坦な地形であり、アパートやマンションが多い地域です。

■ 地区データ

人口	24,968人	0～14歳人口	2,599人
世帯数	14,462世帯	15～64歳人口	19,001人
高齢化率(65歳以上)	13.5%	65歳以上人口	3,368人

平成22年9月末現在



■ 地区内の施設

区分	名称	区分	名称	
主な公的施設	多摩区総合庁舎 (多摩区役所)	こども文化センター	すかいきつず	
	多摩市民館	認可保育所・幼稚園	稲田保育園	
	多摩図書館		KFJなのはな保育園	
	多摩区社会福祉協議会		のぼりっこ保育園	
福祉パルたま	ぶどうの実保育園			
(高齢者施設) いこいの家	登戸		玉川幼稚園	
障害者施設	障害者生活支援センター	KFJ多摩障害者生活支援センター	丸山幼稚園	
	地域活動支援センター	工房登戸新町	小・中・高校	登戸小学校
		川崎きた作業所	公園	登戸第1公園、登戸台和公園など 計12か所
		紙ひこうき		
多摩ワークショップ				

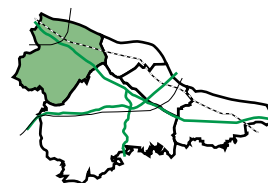
■ 地区で行われている保健福祉活動

分野	【実施主体】活動 (場所)
高齢者	【区社協】 ミニデイ「にっこり会」 【包括C】 登戸いきいき倶楽部 【区】 いこい元気広場 【地区社協】 一人暮らし老人会食会 【他】 登戸地区すこやか活動
障害者	【地区社協】 福祉講演会、クリスマス会、福祉交流会
子育て	【登戸地区民児協】 子育てサロン「ひよっこ」 【稲田東・登戸地区民児協】 ママとあそぼうパパもね (すかいきつず) 【NPO】 親子ひろば 【区】 のぼりとママズサロン、子育てひろば、外国人の子育てひろば
健康	【区】 公園体操 (登戸稲荷神社)、いきいき体操 (登戸いこいの家、さくらホール)
その他	【地区社協】 登戸さくら祭り、広報紙「いなだ」発行、紙飛行機大会の開催、七夕まつりの実施、節分祭の実施、登戸フェスティバルにおいて車いす体験 【学校】 登戸フェスティバル

(2) 菅地区

地区内の町丁目

菅1～6丁目、菅稲田堤1～3丁目、菅城下、菅野戸呂、
菅北浦1～5丁目、菅仙石1～4丁目、菅馬場1～4丁目



■ 地区の概況

菅地区は、多摩区の北西部に位置し、多摩川に接しているほか地区内を多摩川水系の支流三沢川が流れています。交通面では、JR南武線稲田堤駅と京王相模原線稲田堤駅があり、都心へのアクセスが便利です。また、川崎農産物ブランドの一つである「のらぼう菜」の産地としても有名です。

■ 地区データ

人口	42,842人	0～14歳人口	5,648人
世帯数	19,662世帯	15～64歳人口	31,163人
高齢化率（65歳以上）	14.1%	65歳以上人口	6,031人

平成22年9月末現在



■ 地区内の施設

区分		名称	区分	名称
主な公的施設		菅行政サービスコーナー	地域子育て支援センター	みなみすげ（児童館型）
		多摩図書館菅閲覧所		宙ーそらー
		川崎市多摩スポーツセンター（平成23年3月予定）	認可保育所・幼稚園	菅保育園
高齢者施設	地域包括支援センター	菅の里		厚生館愛児園
		よみうりランド花ハウス		なごみ保育園
いこいの家		菅		星の子愛児園
		南菅		菅幼稚園
特別養護老人ホーム		菅の里		東菅幼稚園
		よみうりランド花ハウス		小・中・高校
介護老人保健施設		よみうりランドケアセンター	東菅小学校	
			南菅小学校	
障害者生活支援センター		はぐるま支援センター	西菅小学校	
			菅中学校	
子ども文化センター		菅	南菅中学校	
		南菅	県立菅高校	
ふれあい子育てサポートセンター		宙ーそらー	公園	稲田公園、多摩川緑地菅地区公園、西菅公園など計29か所

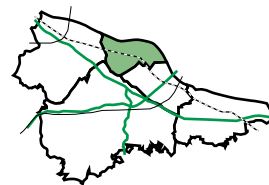
■ 地区で行われている保健福祉活動

分野	【実施主体】活動（場所）
高齢者	【区社協】ミニデイありのみ会 【地区社協】一人暮らし老人への年賀状送付、講演会、一人暮らし老人会食会、 【包括C】転倒予防教室、介護予防教室 【他】菅地区さわやか活動、南菅地区すこやか活動、ミニデイ「菅憩会」「いずみ」 【区】いこい元気広場
障害者	【地区社協】小中学校での擬似体験 【他】地域リハビリ「菅みのりの会」
子育て	【地区社協】講演会、親子体操 【菅第2地区民児協】下校時・祭礼時パトロール 【菅第1・2地区民児協】ママとあそぼうパパもね（菅こ文） 【子育て支援C】相談、講座、情報・遊び場提供など 【NPO】ままとんサロン、ぱぱとんサロン 【区】菅ママズサロン 【他】あいさつ運動、教会の親子ひろば、にこにこひろば
健康	【区】公園体操（菅芝間子ども公園、稲田公園、菅第3公園、菅仙谷公園、菅馬場公園）、いきいき体操（菅いこいの家、菅住宅集会所、ふじのき台団地集会所、南菅いこいの家、小嶋宅）
その他	【地区社協】社会福祉のつどい、広報紙「菅社協便り」発行、福祉標語看板の管理 【菅第1地区民児協】小学校長と民生委員の懇談会

(3) 中野島地区

地区内の町丁目

中野島、中野島1～6丁目、布田



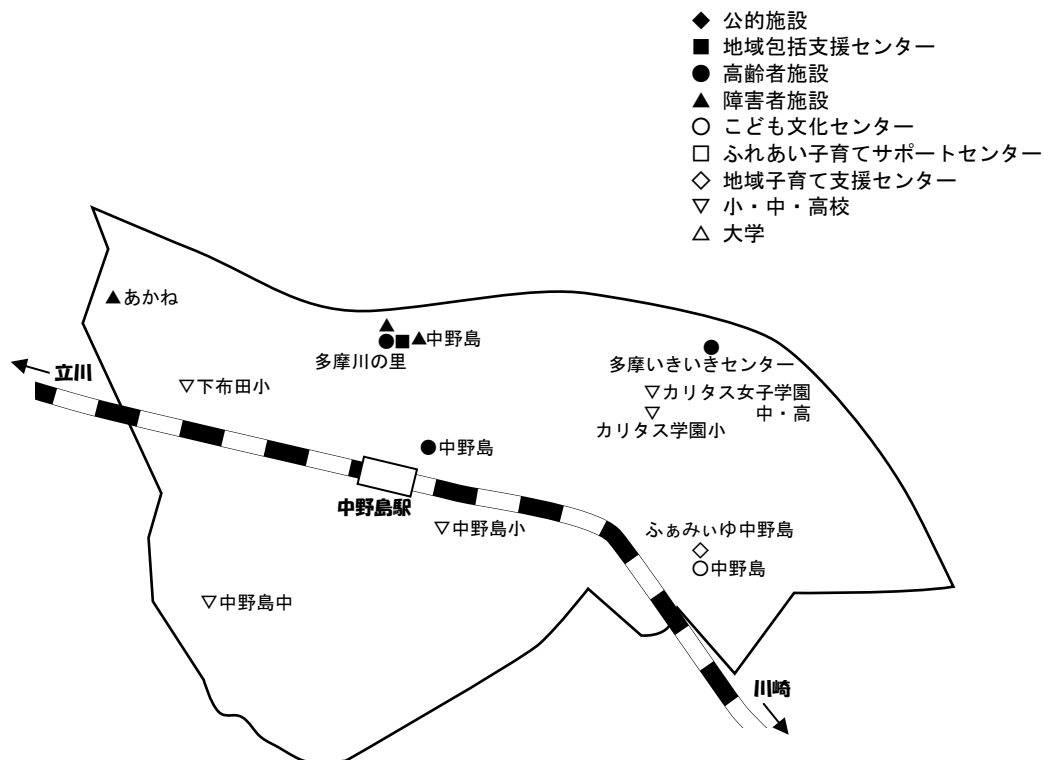
■ 地区の概況

中野島地区は、多摩区を中心から北部に位置し多摩川に接しています。地区の中心にJR南武線中野島駅があり、駅周辺には商店が広がっています。5地区の中では、面積が最も小さい地域です。

■ 地区データ

人口	23,300人	0～14歳人口	3,043人
世帯数	10,904世帯	15～64歳人口	16,457人
高齢化率（65歳以上）	16.3%	65歳以上人口	3,800人

平成22年9月末現在



■ 地区内の施設

区分		名称	区分	名称
高齢者施設	地域包括支援センター	多摩川の里	認可保育所・幼稚園	中野島乳児保育園
	いこいの家	中野島		ハグミー・ナーサリー
	いきいきセンター(老人福祉センター)	多摩いきいきセンター		中野島幼稚園
	特別養護老人ホーム	多摩川の里		カリタス幼稚園
障害者施設	障害者生活支援センター	中野島	小・中・高校	中野島小学校
		障害者生活相談支援事業所あかね		下布田小学校
こども文化センター	中野島	多摩川の里身体障害者福祉会館		カリタス学園小学校
				中野島
地域子育て支援センター	ふぁみいゆ中野島(児童館型)	多摩川の里		カリタス女子学園中学校
認可保育所・幼稚園	東中野島保育園 中野島保育園	中野島		カリタス女子学園高校
			多摩川緑地中野島地区公園、上布田公園、中野島中河原公園など 計10か所	
認可保育所・幼稚園	中野島保育園	中野島	公園	

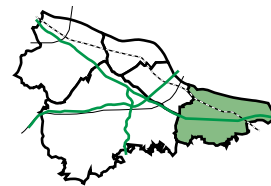
■ 地区で行われている保健福祉活動

分野	【実施主体】活動 (場所)
高齢者	<p>【区社協】 ミニデイケア「たんぼぼ」</p> <p>【地区社協】 一人暮らし高齢者への年賀状送付、一人暮らし老人会食会</p> <p>【包括C】 中野島いきいき倶楽部、多摩川健康ウォーキング</p> <p>【他】 布田・中野島すこやか活動</p> <p>【区】 いこい元気広場</p>
障害者	<p>【地区社協】 障害疑似体験講座</p> <p>【他】 地域リハビリ「多摩みのりの会」</p> <p>【区】 地域リハビリ「いきいき会」</p>
子育て	<p>【地区社協】 保育ボランティアチューリップの会の運営、親子体操教室、幼児のつどい、懇談会</p> <p>【稲田中野島地区民児協】 子育てサロン「バンビ」、声かけ運動、安全パトロール</p> <p>【稲田中野島・生田東地区民児協】 ママとあそぼうパパもね(中野島こ文)</p> <p>【子育て支援C】 相談、講座、情報・遊び場提供など</p> <p>【他】 子育て広場「ばぶちゃん'S」</p>
健康	<p>【区】 公園体操(下布田公園、中野島中河原公園、中野島石河原公園)</p> <p>いきいき体操(中野島団地集会所、中野島こども文化センター)</p>
その他	<p>【地区社協】 社会福祉のつどい、広報紙「なかのしま」発行、講演会、福祉標語看板の管理</p>

(4) 稲田第三地区

地区内の町丁目

宿河原1～7丁目、堰1～3丁目、長尾1～7丁目



■ 地区の概況

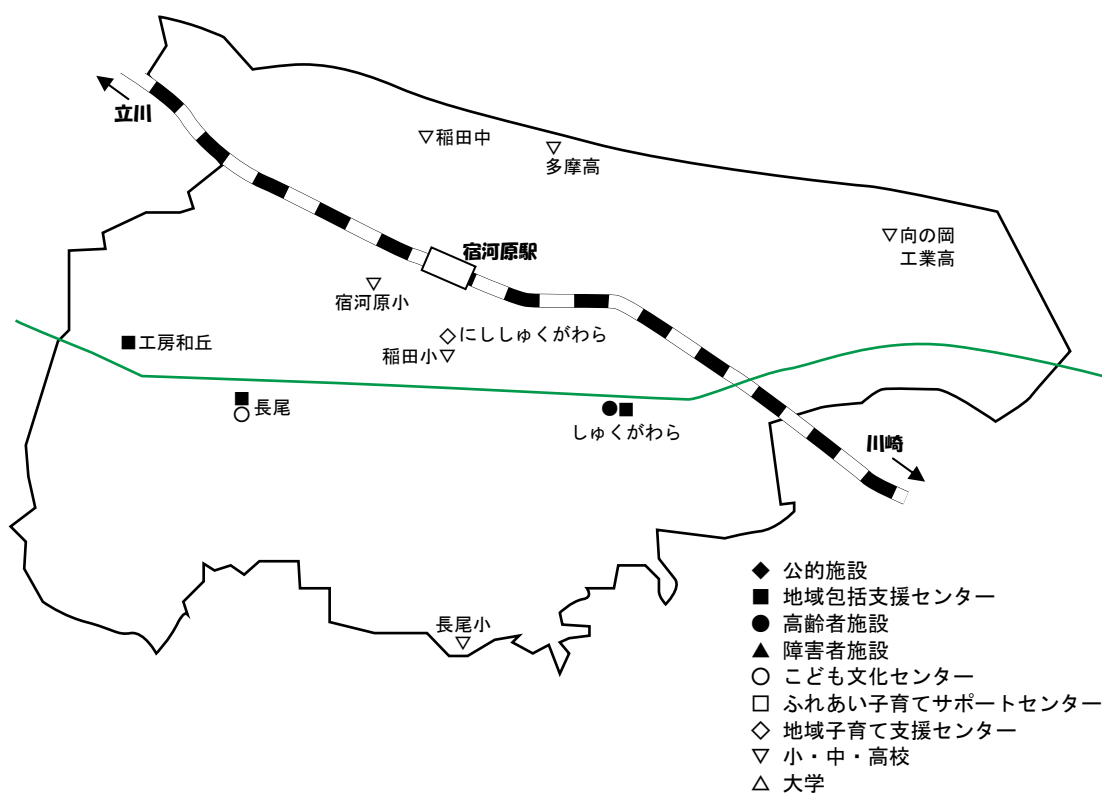
稲田第三地区は、多摩区の東部に位置し、地区の中心にJR南武線宿河原駅があります。また、北側は多摩川、東側は高津区、南側は宮前区と接しており、新しいマンション等への若年層の転入者と高齢者が混在した地域です。

地区内を、桜の名所である「ニヶ領用水」が流れており、多摩川を中心とする情報発信や市民活動の拠点施設である「ニヶ領せせらぎ館」があります。また、2011年には、「(仮称)藤子・F・不二雄ミュージアム」が向ヶ丘遊園跡地にオープンする予定です。

■ 地区データ

人口	40,579人	0～14歳人口	5,189人
世帯数	19,894世帯	15～64歳人口	29,052人
高齢化率(65歳以上)	15.6%	65歳以上人口	6,338人

平成22年9月末現在



■ 地区内の施設

区分		名称	区分	名称
高齢者施設	地域包括支援センター	しゅくがわら	認可保育所・幼稚園	ういず宿河原保育園
	いこいの家	長尾		玉幼稚園
	特別養護老人ホーム	しゅくがわら		桐光学園みどり幼稚園
		宿河原幼稚園		
	(障害者施設) 地域活動支援センター	工房和丘	小・中・高校	川崎若葉幼稚園
	こども文化センター	長尾		稲田小学校
	地域子育て支援センター	にししゅくがわら		宿河原小学校
				長尾小学校
				稲田中学校
			県立多摩高校	
			県立向の岡工業高校	
	認可保育所・幼稚園	西宿河原保育園	公園	多摩川緑地宿河原地区公園、ふじやま遺跡公園、宿河原わんぱく公園、東名堰第2公園など 計29か所
		宿河原保育園		
		龍巖寺保育園		
		ひばり保育園		
		ひばりっこくらぶ保育園		
		そらまめ保育園		

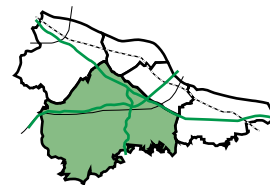
■ 地区で行われている保健福祉活動

分野	【実施主体】活動 (場所)
高齢者	【区社協】 ミニデイケアかざぐるま 【地区社協】 一人暮らし老人会食会、ミニデイケア「ほがらか会」 【包括C】 宿河原東住宅ミニデイ 【他】 ひらいサロン 【区】 いこい元気広場
障害者	【地区社協】 バスハイク、クリスマス会 【地区社協・区】 地域リハビリ「長尾みのりの会」 【他】 LPD友の会
子育て	【区社協】 ふれあい子育てサロン「いちにのさん！」 【地区社協】 人形劇 【子育て支援C】 相談、講座、情報・遊び場提供など 【区】 長尾親と子のひろば
健康	【他】 メゾンドール多摩川介護予防教室、コロバーヌの会 【区】 公園体操 (東名堰第2公園、宿河原南公園、宿河原本村公園、宿河原あおぞら公園) いきいき体操 (メゾンドール多摩川集会所、宿河原東住宅集会所、多摩新町自治会館、長尾こども文化センター)
その他	【地区社協】 地域福祉のつどい、広報紙「稲田第三地区社協」発行 【稲田東地区民児協】 囲碁・将棋をならべよう会

(5) 生田地区

地区内の町丁目

東生田1～4丁目、東三田1～3丁目、枡形1～6丁目、
生田1～8丁目、三田1～5丁目、栗谷1～4丁目、
寺尾台1、2丁目、長沢1～4丁目、西生田1～5丁目、
南生田1～8丁目



■ 地区の概況

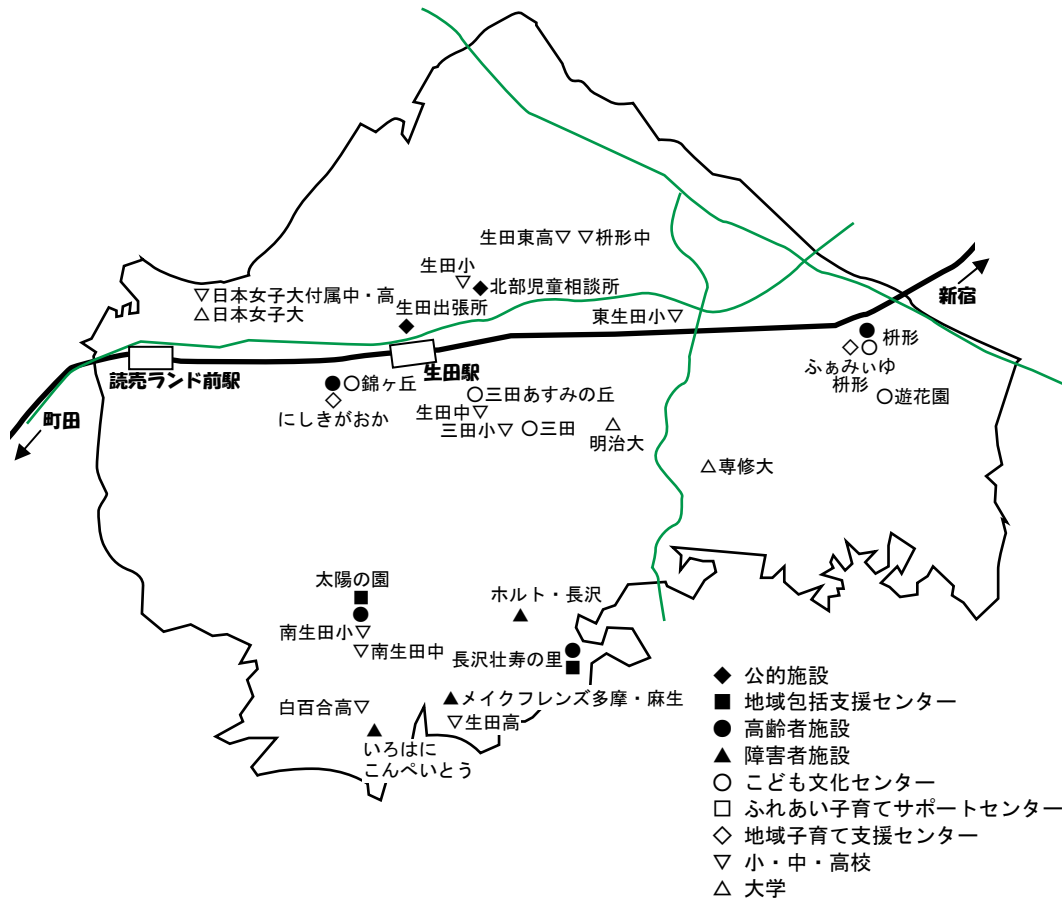
生田地区は、多摩区の中心部から多摩丘陵が広がる南部に位置し、約123ヘクタールと広大な緑の中には、「日本民家園」「岡本太郎美術館」「青少年科学館」などの教育・文化施設が点在し、緑豊かな市民の憩いと学びの場となっています。

また、小田急小田原線（生田駅、読売ランド前駅）が地区内を横断し、東三田には明治大学と専修大学、西生田には日本女子大学があります。

■ 地区データ

人口	73,139人	0～14歳人口	9,443人
世帯数	34,477世帯	15～64歳人口	50,820人
高齢化率（65歳以上）	17.6%	65歳以上人口	12,876人

平成22年9月末現在



■ 地区内の施設

区分		名称	区分	名称	
主な公共施設		多摩区役所生田出張所	※ から 地域活動支援センター	メイクフレンズ多摩・麻生	
		北部児童相談所 (平成23年4月開設予定)			
高齢者施設	地域包括支援センター	長沢壮寿の里 太陽の園	こども文化センター	枘形 錦ヶ丘 三田	
	いこいの家	錦ヶ丘 枘形		地域子育て支援センター	ふぁみいゆ枘形 (児童館型) にしきがおか (児童館型)
	特別養護老人ホーム	長沢壮寿の里 太陽の園			認可保育所・幼稚園
	介護老人保健施設	三田あすみの丘 遊花園	生田乳児保育園 第二厚生館愛児園 太陽の子保育園 桐光学園寺尾みどり幼稚園 生田ひまわり幼稚園 西三田幼稚園		
障害者施設	地域生活支援センター	ホルト・長沢			
	障害者生活支援センター	生活支援センター いろはにこんべいとう 地域生活支援センター ホルト・長沢			

区分	名称	区分	名称
小・中・高校	東生田小学校	大学	明治大学
	三田小学校		専修大学
	生田小学校		日本女子大学
	南生田小学校	公園	生田緑地、南生田公園、三田第1公園、錦ヶ丘南公園、長沢公園、寺尾台第1公園、東生田緑地公園 など計79か所
	柘形中学校		
	生田中学校		
	南生田中学校		
	日本女子大学付属中学校		
	県立生田東高校		
	県立生田高校		
	県立百合丘高校		
	日本女子大学付属高校		

■ 地区で行われている保健福祉活動

分野	【実施主体】活動（場所）
高齢者	<p>【地区社協】お年寄りのつどい、会食会、長寿をたのしもう！</p> <p>【包括C】よろず相談会、健康相談、転倒予防教室、ふわふわ井戸端会議</p> <p>【他】生田地区すこやか活動、長沢・南生田すこやか活動、三田地区すこやか活動</p> <p>【区】いこい元気広場</p>
障害者	<p>【区】地域リハビリ「生田みのりの会」</p>
子育て	<p>【地区社協】中学生を囲む懇談会、講習会</p> <p>【生田東・生田中央・生田第2地区民児協】ママとあそぼうパパもね（川崎生田道院）</p> <p>【生田東・生田中央・生田第2地区民児協、地区社協】子育てサロン「にこにこ広場」</p> <p>【生田東地区民児協】子育てサロン「土渕すくすく広場」「飯室すくすく」</p> <p>【生田第2地区民児協】子育てフリースペース「なのはな」</p> <p>【柘形こ文】ちびっこ広場</p> <p>【子育て支援C】相談、講座、情報・遊び場提供など</p> <p>【他】教会の親子ひろば、みちゃっ子ひろば</p> <p>【区】長沢ママズサロン</p>
健康	<p>【区】公園体操（三田第2公園、杉山神社、生田緑地、生田アゼリア公園、生田2丁目公園、寺尾台第1公園、寺尾台第2公園、南生田公園、南生田1丁目公園、生田中谷第1公園、生田中谷第3公園、南生田4丁目公園、東長沢しいの木公園、長澤諏訪公園）</p> <p>いきいき体操（西三田住宅管理組合集会所、柘形いこいの家、おしぬま自治会館、寺尾台コミュニティセンター、錦が丘いこいの家、長沢自治会館、他）</p>
その他	<p>【地区社協】広報紙「いくた」発行</p>

5 地域福祉推進のための役割

(1) 町内会・自治会の役割

町内会・自治会は、地域に住む人たちが仲良く助け合って暮らしていくため、地域における様々な問題の解決に取り組む組織として、また、地域でのふれあいの輪を広げ、人々の連帯意識の向上に努める自主的な地域の団体として、地域福祉を展開していく中でも重要な役割が期待されています。

町内会・自治会に対しては、区民の理解と主体的な参加を促進し、小地域での推進体制を整備していく上での「まとめ役」として、大きな期待が寄せられています。

(2) 民生委員児童委員の役割

民生委員児童委員は、「社会福祉に関する活動を行う者」として地域福祉の推進に努めることとされています。これまでも、民生委員児童委員は、住民の生活実態を把握し、住民の立場に立ち福祉的視点から相談・援助を行ってきました。しかし、社会福祉の公的サービスは個人で選択して利用する方向に進んでいる中、利用制度の仕組みから漏れたり、利用を希望しない人たちへの対応など、民生委員児童委員の役割はさらに大きくなっています。また、「地域のつながり」をつくるための「橋渡しの役割」、すなわち、地域に住むすべての人々が安心して生活していけるような、福祉のまちづくりという視点で活動していくことが期待されます。民生委員児童委員は、地域福祉の中核的な推進役としての役割が期待されます。

(3) NPOの役割

NPOは、様々な分野（福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など）で、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たしています。地域福祉を推進していくにあたり、地域のニーズも汲み取り、区や関係機関等とも連携・協働を図りながら、柔軟に必要なサービスを提供します。

今後は、さらにこれまでの経験や技術、知識を生かして、福祉のまちづくりに参画し、地域に貢献していくことが期待されます。

(4) ボランティアの役割

ボランティアは、自由な発想で住民のニーズにきめ細かく、迅速に対応することができる特徴を持っています。区としても、施策の推進にあたってはボランティアとの協働は欠かせることができません。画一化しやすい公的サービスを個別性に合わせて提供するサポート役としても力を発揮できます。また、近隣で見守りが必要な人へ、少しの協力をしてくれるボランティアも求められており、より多くの人ができることを少しずつ担い、一人ひとりの力を発揮してもらおうことが望まれます。

(5) 関係機関の役割

地域には、市から相談支援等の委託を受けた関係機関として、高齢分野では地域包括支援センター、子ども分野では地域子育て支援センター、障害者分野では障害者生活支援センター等が設置され、生活に身近なサービスを提供する福祉施設があります。これらの施設は、高齢者や児童、障害者までの幅広い社会福祉の専門知識と施設の物的・人的資源を持ちあわせています。地域で活動する様々な団体とも連携を図り、その技術や知識を活かし、地域福祉の視点からも中核機関として広く活動していくことが大切です。

また、社会福祉法人は、施設の事業運営で完結するのではなく、地域住民と共に歩む姿勢を持ち、地域福祉にどのように参画できるのかをあらためて検討し、施設が地域の資源として認知されるように地域貢献を果たしていくことが期待されます。

(6) 区社会福祉協議会の役割

社会福祉協議会は、社会福祉法（第109条）の中で中心的な役割を担う団体として位置付けられおり、在宅福祉サービスやいこいの家の運営管理などを市から受託してきたほか、地域の福祉活動のコーディネーターとして地区社会福祉協議会を支援します。

区民参加の地域福祉を計画的に推進するために、地域福祉活動計画を策定しています。区の地域福祉計画と連携・協働し、地域内の各団体や個人がお互いの活動について認め合い、分担しあいながら、地域に根ざした活動になるよう各事業に取り組みます。

これからは、小地域における地域福祉の推進と行政とは異なる民間組織として、各団体と連携を強化しながら、社会福祉協議会としての存在意義と役割を明確にしていくことが求められています。

(7) 区の役割

行政計画として策定している地域福祉計画を地域で推進していくためには、地域福祉の運営について地域に暮らす人々が参画し、話し合う仕組みと体制を整備していくことが必要です。また、従来からかかわりのある団体やNPOのみでなく、できるだけ多くの区民に参画してもらい、区民のための保健福祉活動が行われることが大切です。

区社会福祉協議会における地域福祉活動計画の推進体制と、庁内の生活関連部署との連携を強化し、総合的・横断的なサポート体制を組むことが必要となります。これからも、高齢者や児童、障害者などの施策も含め、施策の形成過程にも直接的に区民がかかわれる機会の拡充を図り、区民との連帯意識を高めていくことが求められています。

6 進行管理と評価

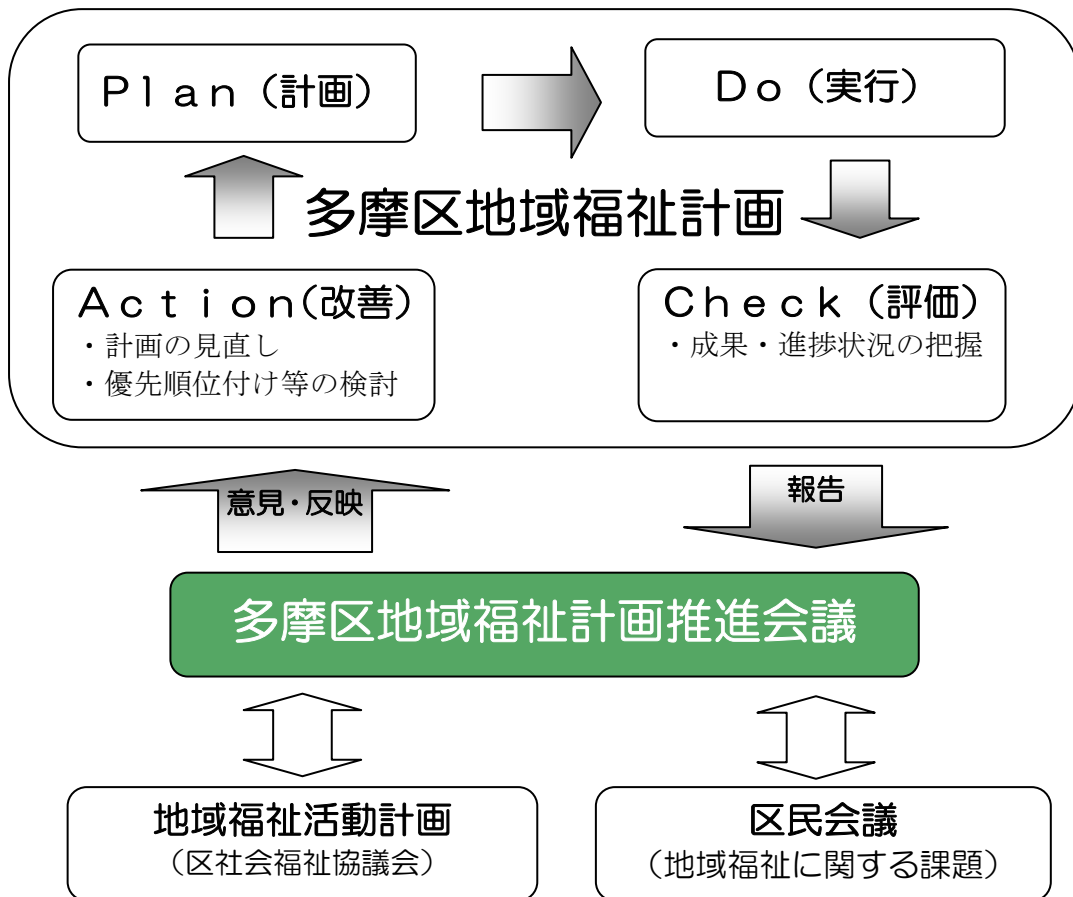
(1) 進行管理

多摩区地域福祉計画の進行管理は、公募区民、地域福祉関連団体、学識者、区職員等で構成する多摩区地域福祉計画推進会議において行います。

「区の取組」については、事業所管課が自己評価した結果をもとに、多摩区地域福祉計画推進会議において評価を行います。

「区民・団体・事業者等の取組」については、地域福祉実態調査やヒアリングにより実態把握を行います。また、川崎市自治基本条例に規定され、地域の課題解決を目的とし調査審議を行う会議として、区民会議があります。地域福祉に係わる審議テーマについては、進捗状況を把握し、効率的、効果的に進めていきます。

「区社会福祉協議会の取組」は、多摩区地域福祉活動計画として担当理事制により進行管理を行っています。情報の共有を行い、連携を強めていきます。



(2) 評価の参考指標

地域福祉の向上に向けた取組の成果は、短い期間では数値や統計には表れにくい側面があります。取組の評価は、中長期的な視点から地域福祉に係わる区民、団体、関係機関、区等の立場の人が、同じ指標により客観的に現状を視ることが大切です。

地域福祉の推進を計測するための参考指標の一部として、既存のデータの中から考えられる多摩区の値をあげました。

① 地域全般	かわさき市民アンケート（毎年実施）	(H21年度)	総務局市民情報室
	・定住意向（これからも住んでいたい）	63.5%	
・長期居住者の割合 （20年以上、生まれてからずっと住んでいる）			
	・総合的な生活環境の満足度（満足の割合）	63.0%	
	区社会福祉協議会賛助会員数	約4,900人 (H22年度)	区社会福祉協議会
	生活保護被保護世帯数・人員	1,572人 (世帯数) 2,293人 (H21年度)	保護課
	自殺者数	38人（男27人、 女11人）(H20年)	神奈川県衛生統計年報
	刑法犯認知件数	2,175件 (H20年)	川崎市統計データブック
	要援護者避難支援制度 登録者数	515件 (H22.4月 末現在)	地域振興課

② 高齢者	地域包括支援センター設置数	6か所 (H22年度)	高齢者支援課	
	市独自事業の利用状況	生活支援型食事サービス事業の利用者数		84 (H22.10.15現在)
		要介護者生活支援ヘルパー派遣事業の利用者数		32 (H22.10.15現在)
		緊急通報システム設置運営事業の利用者数		168 (H22.10.15現在)
	要介護者等の割合	15.98% (H22.10.1現在)	川崎市高齢者施策状況	
	川崎市高齢者実態調査（3年に1度実施）	H22年度実施結果	健康福祉局高齢者事業推進課	
	川崎市ひとり暮らし等高齢者実態調査 全数把握は3年に1回実施 対象：75歳以上で介護保険サービスを受けていない人	H20年度実施結果	健康福祉局高齢者在宅サービス課	
	・週2回以上外出している人の割合	89.4%		
	・話す回数がほぼ毎日の人の割合	79.8%		
	・相談できる人がいる割合	90.5%		

③ 障害者

身体障害者手帳交付数	4,149 (H21年度)	保健所業務の概要
知的障害者(児)数(療育手帳交付数)	982 (H21年度)	
精神保健福祉手帳交付数(1～3級)	968 (H21年度)	
精神保健福祉相談の件数	新規291 継続196 (H21年度)	
自立支援医療(精神通院医療)の給付件数	2,288 (H21年度)	健康福祉局 障害計画課
自立支援介護訓練等の給付件数	750 (H22.3.31現在)	

④ 子ども

多摩区子ども支援基本方針アンケート調査結果 (H21年度)			子ども 支援室	
・多摩区のことを好きか (割合)	保護者全階層平均 71% 中学生 68.8% 高校生 59.6%			
・地域から見守られていると感じる (小学生以下の保護者)	3歳未満の保護者 39% 幼・保の保護者 31% 小学生の保護者 44%			
・小中高生が地域活動に参加している (割合)	小学生 39% 中学生 22% 高校生 23%			
・子どもの遊び場・居場所に関する評価 (満足、どちらかと言うと満足)	3歳未満の保護者 43.3% 幼・保の保護者 45.3% 小学生の保護者 41.8%			
各乳幼児健診アンケート(すこやか親子21関係により実施)(H21年度)			市民・こども局 こども家庭課	
	3-4か月	1歳6か月		3歳
・子育てを楽しんでいる保護者の割合 (子どもとの生活が「楽しい」)	42.1%	46.5%		43.1%
・子育て中にイライラしている母親の割合 (子どもとの生活に「イライラする」)	11.9%	8.7%		27.5%
・育児の相談相手がいる母親の割合 (育児の相談者や協力者が「いる」)	99.8%	100%	99.2%	
地域における子育て広場・サロンの数 (「多摩区で子育て」における掲載数)	32か所 (H22.9.19現在)		子ども 支援室	
保育園待機児童数	194人 (H22.4月現在)		市民・こども局 保育課	
学校基本調査結果 (H20年度)			教育委員会	
不登校の小学生数 ^{※1}	1,159人			
不登校の中学生数 ^{※2} (※1※2:年度間に通算30日以上欠席した児童数)	194人			

⑤ 健康

ミニデイの参加人数	106人 (H22.10月現在)	地域保健福祉課
地域リハビリの参加人数	88人 (H22.10月現在)	
食生活改善推進員会員登録数	106人 (H22年度)	
運動普及推進員会員登録数	81人 (H22年度)	
介護予防・健康づくりボランティア養成数	養成数	
	登録数	176人 (H22.6月現在)
要介護者等の割合	15.98% (H22.10.1現在)	川崎市高齢者施策状況